

## 平成 26 年第 8 回 阿蘇市議会定例会 一般質問一覧

質問順	質問者	質問事項及び質問の要旨
1 番	12 番 五嶋義行 議員	1 災害危険区域の市条例制定について (1) 県への要望の回答待ちとあるが条例制定のタイミングは (2) 西の玄関口、赤水温泉阿蘇白雲山荘の将来は 2 阿蘇市建設計画について (1) 合併特例債発行可能期 5 年延長のメリットは (2) すべての計画で道路の必要性が求められるが国道 57 号の四車線化の阿蘇市の現状は
2 番	4 番 市原正 議員	1 防犯灯について 設置状況と今後について 2 阿蘇中岳の噴火について 被害対策について 3 県道内牧坂梨線の工事について (1) 現在の進捗状況は (2) 完成までの県の考え方は
3 番	2 番 園田浩文 議員	1 ASO 環境共生基金及びふるさと納税について (1) 運用と実績 (2) 感謝の品等について
4 番	6 番 森元秀一 議員	1 魅力あふれる大阿蘇の観光地づくり 阿蘇市建設計画の中の「食と農と環境」をテーマにした魅力あふれる観光地を推進しますとありますが今後の市における考えは (1) 世界ジオパーク&世界農業遺産今後のマーケティングは ア 総合産業としての観光振興 (ア) 観光のマーケティングと具体策は (イ) 農業に対する具体策、農産物のブランド化は、加工・流通の体制作りは、6 次産業推進の経過は (ウ) 観光と農業の融合は (エ) 民間とのコラボは、個性ある店舗と賑わいのある商店街づくりは、人材育成は イ 魅力ある観光資源の開発 (ア) 魅力あるプランとメニューの実績は (イ) 滞在型観光の展開は ウ 阿蘇地域玄関口の拠点整備 (ア) 玄関口トイレの整備 (イ) 拠点整備の進行状況 2 「放課後子ども総合プラン」の推進について (1) 放課後子ども教室の平成 31 年までの整備計画 (2) 小学校の余裕教室等の活用に関する具体的な方策 (3) 教育委員会と福祉部局の具体的な連携に関する方策等
5 番	15 番 井手明廣 議員	1 県道内牧坂梨線について (1) 現在までの進み具合 (2) 今後の進め方はどうなるのか 2 阿蘇医療センターの医師住宅について
6 番	17 番 高宮今朝秀 議員	1 「阿蘇市地下水保全条例」制定その後について (1) 施行後の結果・効果は (2) 保全条例に伴う地下水涵養の考えは

質問順	質問者	質問事項及び質問の要旨
7 番	16 番 川端忠義 議員	<p>1 地方公共団体の基本的な役割について</p> <p>(1) 地方公共団体の基本的な役割は何か。</p> <p>(2) 阿蘇市は、地方公共団体の基本的な役割を十分に果たしているか。</p> <p>(3) 国民健康保険加入世帯で、「資格証明書発行」(無保険証)は何世帯か。それらの世帯に市はどのような支援をしているのか。</p> <p>(4) 「短期保険証発行」は、何世帯か。有効期間は何月か。それらの世帯に市はどのような支援をしているのか。</p> <p>(5) 国民健康保険税の滞納の原因究明と滞納解消のために、市はどのような支援を行っているか。</p> <p>(6) 阿蘇市の国民健康保険の診療費の高い原因は何か。その解決のための対策は効果を上げているか。</p> <p>(7) 阿蘇市の高すぎる国民健康保険税は、今後どうするのか。</p> <p>(8) 阿蘇市は、地方公共団体の基本的な役割の向上のために、市民に対してどのような支援態勢で臨むのか。</p> <p>2 「地方創生事業」について</p> <p>(1) 市長の「森林の整備事業」の構想について</p> <p>(2) 事業推進の具体的な計画について</p>
8 番	1 番 谷崎利浩 議員	<p>1 災害復旧・災害対策の今後について</p> <p>(1) 県の災害復旧事業にかからない災害箇所</p> <p>ア 東黒川ほぐいの谷と流路、古賀川、阿蘇いこいの村方面からの水</p> <p>イ 黒川第5の流路</p> <p>ウ 乙姫川の流路</p> <p>エ 浜宮川の流路と農村公園あびかまでの道路</p> <p>オ 下り山など内水対策</p> <p>(2) 単独予算でも五か年計画とか作った方がいいのでは</p> <p>2 阿蘇いこいの村の契約内容について</p> <p>(1) 契約の形態、年数、料金</p> <p>(2) 修繕・改装の取り決めは</p>
9 番	19 番 古澤國義 議員	<p>1 国の地方創生、地域の活力創造といわれる名のもと市の地域活性化策は</p> <p>2 介護福祉施設や老人ホームを波野に雇用事業としてつくるか誘致するかの話は</p> <p>3 温泉利用の福祉温泉は検討されているのか</p> <p>4 市営住宅を造ってほしいとの要望が多いが</p> <p>5 阿蘇山噴火による火山灰・ガスの被害に対する今後の農業対策は</p>
10 番	11 番 田中弘子 議員	<p>1 退避壕の安全性について (中岳第一火口の噴火時)</p> <p>2 小・中学校の部活動の社会体育への移行について</p> <p>3 電子黒板を活用した授業に対する子どもたちの反応は</p>